



8月のほけんだより

令和4年7月29日発行
認定こども園どんぐり
看護師 大久保・古川

本格的な暑さとなってきましたね!! 急に暑くなってきたこの時期に熱中症になる人が急増します。野外ではもちろん室内でもこまめに水分補給をして、風通しを良くしたり、冷房や扇風機を活用したりして室内の温度を調整できると良いですね。

今月は、夏のトラブル・注意して頂きたい事と新型コロナ関連を掲載致しますのでご参照ください。

※7月末、熱、咳、鼻水等の症状でお休みするお子様が多くいました。全国的にコロナウイルス感染症が大流行していますので、引き続き風邪症状時のお休みと検査のご協力をお願い致します。

あせも



汗の出る穴が詰まり、皮膚の内側に汗が溜まって炎症が起こる症状で、細かく赤い発疹が出ます。綿などの吸湿性・通気性のある衣服を選んで、汗をかいたらこまめに拭き、衣服を着替えさせるのが一番の予防法です。子どもの爪は伸びやすく、引っ掻き傷から化膿し悪化しやすくなります。爪は短くしておきましょう。シャワー浴やスキンケアで治まることもありますが、痒みや赤みが強いとき、腫れがあるときは細菌感染が加わっている可能性がありますので、皮膚科を受診しましょう。



～お弁当箱・水筒の消毒について～

カビや細菌は、ジメジメして蒸し暑い環境が大好きです。

お弁当箱や水筒の中で繁殖して食中毒や腹痛、アレルギーの原因になります。家に帰ったらすぐに洗い、中をよく乾燥させましょう。

パッキンもキレイに洗い、お弁当箱・水筒とともに定期的に消毒することも、おすすめします。

虫除け・ダニ対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いため、虫刺されが原因でとびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。

そのような皮膚トラブルを防ぐためにも草むらや川辺など虫がいそうな所で遊ぶ時は、虫よけスプレーを使用したり、長袖・長ズボンなど、簡単に出来る虫除け対策を行いましょう。

☆マダニに噛まれたら?!

ごくまれに致死率の高い感染症に罹患する場合がありますため、無理に引きはがさず、病院受診をしましょう。

お盆・夏休みにおけるコロナ感染予防

新型コロナウイルスが未だ全国的に流行しています。お盆・夏休みの期間も、新型コロナからご家族や大切な人・自分自身を守る為、新しい生活様式の実施をしていきましょう。

〈基本的な感染対策・生活様式〉

- ・こまめな手洗い、手指消毒
 - ・外出時は症状がなくてもマスク着用
 - ・人との間隔は出来るだけ2mあけて
 - ・対面会話は避ける
 - ・発熱、風邪症状の時は無理せず自宅静養
 - ・こまめに換気
 - ・3密（密閉、密集、密接）をさける
- ※お盆などで多くの方が集まる機会がある場合には、家の中でも「新しい生活様式」の徹底を実施していきましょう。
- ※お出かけの際はすいた時間、場所を選ぶようにしましょう。